

# 鹿島特別支援校と4高交流

# スポーツで相互理解

鹿嶋

県立鹿島特別支援学校(鹿嶋市沼尾)と同市内の高校4校の学校間交流会が1日、同市田野辺の鹿島学園高で開かれた。5校の生徒計約90人がボッチャとフライングディスクを共に楽しみながら交流した。

交流会はスポーツを通して相互理解を深めることが狙いで、5校で実施するのは初めて。同校高等部のほか、鹿島学園高、鹿島高、清真学園高、鹿島灘高の生徒が参加した。この日は、1グループ5、6人編成で16グループに分かれて活動。最初は緊張した面持ちだった生徒も、自己紹介や簡単なゲームを行うと徐々に打ち解けていった。ボッチャでは1チーム6



①ボッチャを楽しむ生徒たち  
②フライングディスクを楽しむ生徒たち  
いずれも鹿嶋市田野辺

個ずつボールを持ち、それぞれ赤、青のボールを投げたり転がしたりして、白い目標球への近さで勝敗を決めた。フライングディスクでは数分先にある円形のゴール目にかけてディスクを投げ、1分間で通過した数を

競った。競技中は互いに「ナイス」「惜しいよ」などと応援し、チームメイトとハイタッチするなど、和気あいあいとした雰囲気の中で親交を深めた。同校高等部1年の稲嶺盛

太さん(15)は「かなり盛り上がった。また交流したい」と笑顔。鹿島学園高2年の広島春花さん(16)は「同じ市内の学校でも普段は関わりがないので、交流できて楽しかった」と話した。

(松本篤史)